**シーボニアヨットクラブ相模湾オープンヨットレース2022**

**Sagamiwan Open Yacht Race 2022**

**帆走指示書**

<http://sagamiwan.seabornia.org>

[SP]の表記は、レース委員会が審問無しに標準ペナルティ5％の所要時間に対

してのタイムペナルティを課せる規則を意味する。

レース委員会は抗議することもでき、その場合は審問を経てプロテスト委員会の裁量でペナルティが決定する。

１.　適用規則

　　レース公示に記載の通り。

2..　参加者への通告

　a) 競技者への通告は大会公式ホームページに掲載される。

　b) 帆走指示書の変更は、大会公式ホームページにスタート予定時刻の

　　 2時間前までに掲載する。海上で帆走指示書を変更する場合は本部艇

より海上確認時に口頭で通告される。（RRS90.2 C適用）

　c) 荒天による中止の場合は、大会公式ホームページにて通知する。

　　 当日陸上で中止を決定場合は08：45までに大会公式ホームページに

掲載する。

前日に中止を決定する場合は、18：00までに大会公式ホームページ

に掲載する。

 d) 海上集合後において中止する場合は本部艇にN/A旗（スタート前の

場合はAP/A旗）を掲揚する。サービスとして運営艇より口頭で告知

することも有る。

3．出艇申告書の提出　[SP]

　a) 出艇申告書兼乗員登録書は乗員の健康状態と体温を記入後7月16日

　　 ～17（日）08：00までにsagamiwan@seabornia.orgにメールで送付すること。

　c) 出艇申告をしたにもかかわらずスタートしなかった艇は、その艇の責任者が速やかにレース本部に連絡すること。（電話または直接口頭可）

4．海上確認 [SP]

 レース艇は10：40までにL旗を掲げた本部艇の後方を自艇の右舷を本部艇に見せて確認を受けなければならない。確認時には必ずセイルナンバー或いはリコールナンバーを表示すること。（安全を厳守すること）

5．ライフジャケットの着用　[DP]

　　参加艇の全乗員は出発から帰着までの間ライフジャケットを着用いていなければならない。

　　☆着用する全てのライフジャケットは事前に点検をすること。

　　☆JSAFに未登録の艇は国土交通省認可TYPE-Aのライフジャケット

　　　を着用すること。（ウェストベルトタイプは不可とする）

6．レース艇の識別　[DP] [NP]

　　a) 配布されるレース旗兼クラス旗をバックステーやポールなど、スターン付近のデッキより上方の目立つ位置に掲揚しなければならない。

　　b) 各クラス旗の色は以下とする。

　　　　シーボニアAクラス：グリーン

　　　　シーボニアBクラス：イエロー

　　　　IRCクラス：ピンク

　　　　ORCクラス：パープル

　　　　クラシッククラスはクラス旗を設けない

 c) セイルナンバーの無い艇はレース実行委員会支給のリコールナンバーをマストより前方のライフラインに掲示しなければならない。

　　d) セイルナンバーとリコールナンバーの両方を掲示してはならない。

　　　そのようなセイルを使用する場合は明確に取消線などを表示する事。

7．レース日程

2022年7月17日（日）

　10：45　第１グループ（シーボニアレーティング・ディビジョンA）の予告信号

　　　　 　第2グループ（ORC,IRCディビジョン）のスタートは

第1グループの概ね10分後。

　　　　 　第3グループ（シーボニアレーティング・ディビジョンB）のスタートは第2グループの概ね10分後。

8.　コース

 　 第1グループ（シーボニアレーティング・ディビジョンA）及び

第2グループ（IRC・ORC）

網代崎灯浮標（赤白ブイ）付近スタート→長者ｹ崎沖マーク（反時計回り）→網代崎灯浮標（赤白ブイ）付近フィニッシュ　（約8マイル）

　　第3グループ（シーボニアレーティング・ディビジョンB）

網代崎灯浮標（赤白ブイ）付近スタート→秋谷沖マーク（反時計回り）→網代崎灯浮標（赤白ブイ）付近フィニッシュ　（約6マイル）

9.　マーク

　　リミットマークと長者ｹ崎沖マークはイエロー のブイを使用する。

　　秋谷沖マークはイエローのブイに白帯を巻いたブイを使用する。

10．スタートライン

　　スタートラインは本部艇のSYCクラブ旗を掲揚したポールとリミットマークの見通し線とする。

最後のスタートの10分後にスタートラインは撤去される。

スタートラインが撤去される前にスタートできなかった艇は審問なしにDNSとされる。

11.　フィニッシュライン

　　 フィニッシュラインは本部艇または公式運営艇のブルー旗掲揚のポ

ールとマークの間とする。

12.　スタート方法 [DP]

　a) RRS規則26に従って行われる。

　　＜以下参考＞

　　　予告信号（5分前）：クラス旗掲揚　　　　　音響信号1声

　　　準備信号（4分前）：規定のフラッグ掲揚　　音響信号1声

　　　1分信号（1分前）：規定のフラッグ降下　　長声１声

　　　スタート　　 ：クラス旗降下

　b) 予告信号の発せられていないクラスの艇はスタートエリアから離れ、

　　予告信号の発せられているクラスの艇を避けなければならない。

　　＜参考＞

　　　I旗が準備信号として掲揚された場合はRRS規則30.1（I旗規則）

を適用する。

スタート信号前の1分間に艇体の一部がスタートライン、またはそ

のどちらかの延長線のコースサイドにある場合には、その艇はスタ

ートする前にスタートラインの延長線を横切りプレ・スタートサイ

ドまで帆走しなければならない。

13.　個別のリコール

　　a) 個別のリコール艇があった場合は、音響信号1声とともに第X旗を掲揚する。X旗はリコール艇のすべてがスタートラインの延長線のプレスタートサイドに完全に入るまで、またはスタート信号の4分後までの早い方まで掲げられる。

リミットマーク付近の公式運営艇においても同じ信号を発する予定だが、本部艇により発せられる信号を正規のものとする。

　　b) RRS 30.1の違反については、OCSに代わる罰則として5％のタイ

ムペナルティーが課せられる。

14.　ゼネラルリコール（RRS規則29.2の変更）

　　ゼネラルリコールの場合は音響信号連発とともに第1代表旗を掲揚す

る（サービスとして公式運営艇からも信号を発する予定であるが、本

部艇の信号が正規の信号である）

第1代表旗はスタート4分後まで掲揚される。

ゼネラルリコールになったクラスの新たなスタート予告信号は、第1

代表旗降下の1分後に発せられる。

その他のクラスのスタートは順次繰り下げる。

15．コースの短縮

a)コースの短縮は回航マークで行われる。本部艇または公式運営艇にS旗を掲げ、音響信号２声を発する。

本部艇または公式運営艇のS旗を掲げたポールと回航マークの間をフィニッシュラインとする。

　　b) S旗と同時にクラス旗が掲揚された場合は、該当クラスのみのコースが短縮される。

　　c) コース短縮の公式運営艇は錨泊していない場合もある。

16．タイムリミット

　　全艇15：30とする。15：30までにフィニッシュしなかった艇は、

審問なしにDNFとされる。

17．帰着申告 [DP]

　　フィニッシュをもって帰着申告とする。

　　スタートしたにもかかわらずフィニッシュしなかった艇は、速やかに

　　その艇の責任者がレース本部に連絡すること。

　　☆海上にて無風・微風以外の理由でレースが中止または延期になった場合、各艇は帰港後速やかにレース本部に帰着申告をしなければならない。シーボニア以外に帰港した艇は電話でも受け付ける。

　　　艇名、連絡者名、乗員・艇体等の状況を報告すること。（厳守）

18．無線通信

　　運営には国際VHF72chを使用する。聴取することを制限しないが

　　非常時以外はレース艇から公式運営艇への連絡には使用しないこと。

　　（レース本部への電話を使用）

19．レースの成立

　　各クラスのトップ艇のフィニッシュをもって成立とする。

20．ペナルティ方式

　　RRS第2章及びRRS 31の規則違反についてはRRS 44.1、44.2を適

用する（回転ペナルティ）。その他の違反についてはタイムペナルティ

方式とし、審問の結果所要時間に加算して修正時間を算出する。

21．抗議（救済の要求）

　　a) 抗議（救済の要求）はRRS 61（RRS 62）に従い、かつ、フィニ

ッシュ後速やかにフィニッシュの運営艇にその意思を伝えなければならない。（これはRRS 61.1を変更している）

抗議書はレース本部にクラス最終艇のフィニッシュ後90分以内に提出しなければならない。

　　b) 審問の開始時間及び場所は公式ホームページに掲示し、関係者に通告される。抗議者、被抗議者及び証人は出席しなければならない。

22. 成績の算出

a) シーボニアレーティング・ディビジョン

レース委員会の設定したTMFにより、タイム・オン・タイム方式で修正時間を算出する。

 a-2) クラシックボートクラスはシーボニアレーティング・ディビジョンとして計算し、シーボニアレーティング・ディビジョンと重複受賞することができる。

b）IRCディビジョン

TCCによるタイム・オン・タイム方式で修正時間を算出する。

c) ORCディビジョン

シングルナンバー　オールパーパスによるタイム・オン・タイムで修

正時間を算出する。

　 d) 修正時間は秒単位までとし、同タイムであった場合はTMF、TCC値が小さい艇を上位とする。TMF、TCC値も同じ場合は同順位とする。

　 e) ハンディキャップは大会公式ホームページに発表する。

　　 明らかな艇種の混同などを除き、ハンディキャップに対する救済の　要求は認めない。

23.　大会関係運営艇の識別

　　本部艇：シーボニアヨットクラブ旗＋JSAF旗

　　公式運営艇：シーボニアヨットクラブサブ旗

24．責任の所在

　　レース参加艇の乗員及び艇体の安全もしくは事故（死亡、傷害、沈没、損傷など）については、その責任は全てレース参加艇が負うものとし、主催者並びに大会関係諸団体は、その責任を一切負わない。

25．環境責任　[DP]

　　参加者はスピネーカーをまとめるゴムや毛糸などを含めてゴミを海上に投棄してはならない。（RRS 47）

26．安全規定（他船について）[DP]

　　レース海面並びに付近で操業中の漁船、遊漁船には十分注意し、付近を通過する際は十分な距離を空けること。

27．メディア、画像及び音声

　　参加者は無償で主催者と大会スポンサーに、陸上または海上で撮られたレースに関する画像、映像、音声及びその複製品を、その裁量で永久に作成、使用、公開する権利を自動的に与える。

28．その他の注意

　　JSAFフラッグを掲げた小網代フリートレース（KFR）参加艇がシーボニアAクラスと一緒にスタートし、同一コースを帆走するので注意すること。

**＜レース本部＞**

〒238-0225　三浦市小網代1286

シーボニアヨットクラブ事務局（ハーバー事務所隣り）

TEL　0468―882―1979

TEL　090－4533―0216 （外山）

＜大会ホームページ＞

<http://sagamiwan.seabornia.org>

＜大会メールアドレス＞

sagamiwan@seabornia.org

＜緊急用本部艇電話番号＞

TEL　090－１８３６－２９１７ （才藤）

＊緊急時以外はレース本部に連絡してください